

マンAHLスマート・ レバレッジ戦略ファンド (愛称：スマレバ)

運用報告書(全体版) 第2期

(決算日 2020年10月12日)

(作成対象期間 2020年4月14日～2020年10月12日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	約4年11カ月間(2019年11月12日～2024年10月11日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. アイルランド籍の外国投資法人「マン・ファンズVI・ピーエルシー」が発行する「マン・エーエイチエル・アクティブ・バランスD(円ヘッジ・クラス)」の投資証券(円建) ロ. ダイワ・マネープール・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネープール・マザーファンド	円建ての債券
投資制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界各国の株価指数先物、債券先物等に投資を行ない、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			騰落率	公社債組入比率	投資信託証券組入比率	純資産額
	(分配)	税金	込み				
	円	円	円	%	%	%	百万円
1 期末 (2020年 4 月13日)	9,864	0	△	1.4	—	99.2	111,167
2 期末 (2020年10月12日)	10,236	0		3.8	—	99.4	152,529

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

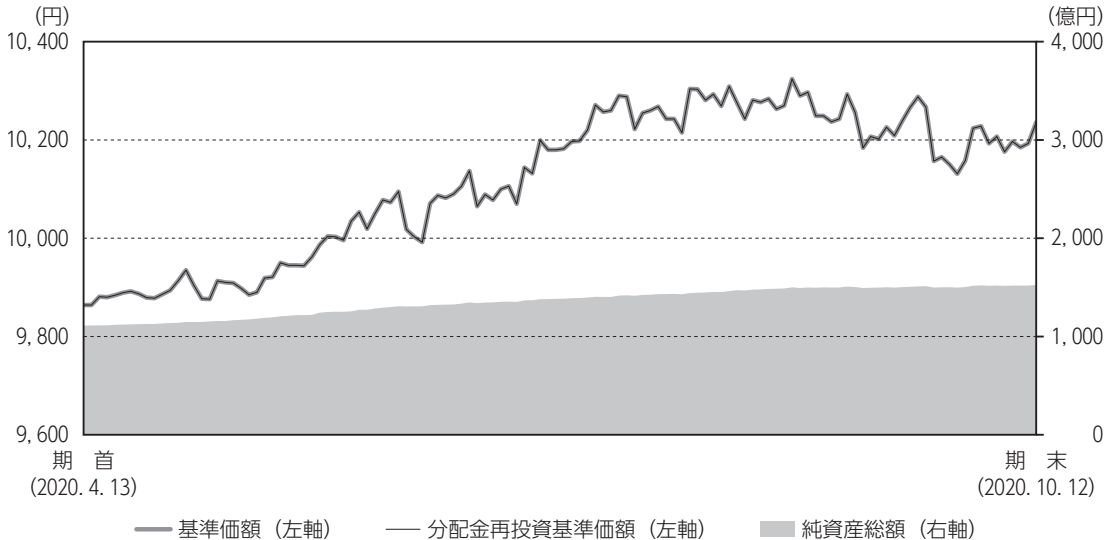
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,864円

期末：10,236円 (分配金0円)

騰落率：3.8% (分配金込み)

■ 基準価額の主な変動要因

世界各国の株価指数先物や債券先物等に投資を行い、ファンドのエクスポージャーを機動的に調整した結果、債券市場からのリターンはおおむね横ばいとなりましたが、株式市場からのリターンがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

マンAHLスマート・レバレッジ戦略ファンド

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率	投資信託証券 組 入 比 率
	円	騰 落 率 %		
(期首)2020年4月13日	9,864	—	—	99.2
4月末	9,913	0.5	—	99.5
5月末	9,987	1.2	—	97.8
6月末	10,078	2.2	—	99.0
7月末	10,268	4.1	—	98.5
8月末	10,249	3.9	—	98.8
9月末	10,224	3.6	—	99.0
(期末)2020年10月12日	10,236	3.8	—	99.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020. 4. 14 ~ 2020. 10. 12)

株式市況

世界の株式市場は上昇しました。

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、2020年2月から3月にかけて世界の株式市場は大きく下落しましたが、その後の各国中央銀行による足並みを揃えた金融緩和策の実施や、各国政府による大規模な景気刺激策などが好感されて3月後半には反発し、当作成期首以降もおおむね上昇基調が継続しました。当作成期においては、米中関係の悪化や新型コロナウイルスの感染再拡大などが懸念材料となり下落する場面も見られたものの、堅調な各種経済指標や外出制限の緩和、ワクチン開発への期待感などが相場を下支えしました。

債券市況

主要先進国の金利は、米国では横ばい、ドイツや英国では低下（債券価格は上昇）となりました。

各国中央銀行による大規模な金融緩和や、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた不透明感の高まりから、当作成期を通して、金利は低位で推移しました。米国では、金利はおおむね横ばいとなった一方、ドイツやフランス、英国など欧州の主要国においては、金利は低下基調での推移が優勢となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

引き続き、アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）およびダイワ・マネープール・マザーファンドに投資し、アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持します。

※アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）：マン・エーエイチエル・アクティブ・バランスド（円ヘッジ・クラス）

アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界各国の株価指数先物、債券先物等に投資を行い、信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。運用においては、システムチック・アルゴリズムを利用したポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させつつ、目標ボラティリティ水準を維持するよう努めます。また、為替変動リスクを抑制するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネープール・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020. 4. 14 ~ 2020. 10. 12)

■当ファンド

当ファンドは、アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）およびダイワ・マネープール・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通じて、アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持しました。

■アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界各国の株価指数先物、債券先物等に投資を行い、信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。運用においては、システムチック・アルゴリズムを利用したポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させつつ、目標ボラティリティ水準を維持するよう努めました。また、為替変動リスクを抑制するため、為替ヘッジを行いました。

ファンドのエクスポージャーについては、2020年4月から5月にかけては運用全体のポジションを緩やかに引き上げ、6月以降はほぼ横ばいとしましたが、8月下旬に債券と株式の相関上昇に着目する自動ブレーキ機能（HEAVYモデル）が発動し、ポートフォリオ全体のエクスポージャーを引き下げました。その後、9月中旬ごろにブレーキは解除され、エクスポージャーは元の水準を回復しました。

■ダイワ・マネープール・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2020年4月14日 ～2020年10月12日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	235

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

引き続き、アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）およびダイワ・マネープール・マザーファンドに投資し、アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持します。

アクティブ・バランス・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界各国の株価指数先物、債券先物等に投資を行い、信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。運用においては、システムチック・アルゴリズムを利用したポジションを構築し、市場環境に応じてエクスポージャーを増減させつつ、目標ボラティリティ水準を維持するよう努めます。

また、為替変動リスクを抑制するため、為替ヘッジを行います。

ダイワ・マネープール・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2020. 4. 14~2020. 10. 12)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	35円	0. 343%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10, 117円です。
(投 信 会 社)	(11)	(0. 110)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(22)	(0. 219)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 001	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	35	0. 344	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

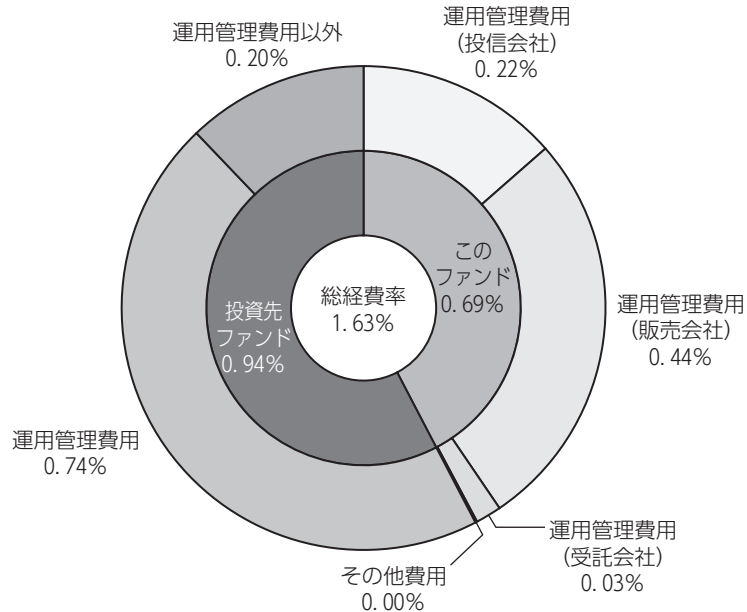
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.63%です。



総経費率 (① + ② + ③)	1.63%
①このファンドの費用の比率	0.69%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.74%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.20%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

マンAHLスマート・レバレッジ戦略ファンド

■売買および取引の状況

投資信託証券

(2020年4月14日から2020年10月12日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国	2,880,726,931	35,940,000	—	—
(邦貨建)	(—)	(—)	(—)	(—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託証券

(2020年4月14日から2020年10月12日まで)

買 付	当 期			売 付			
	□ 数	金 額	平均単価				
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
MAN AHL ACTIVE BALANCED I H JPY SHARES (アイルランド)	2,880,726,931	35,940,000	12,476				

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当 期 末		
	□ 数	評価額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託証券 (アイルランド) MAN AHL ACTIVE BALANCED I H JPY SHARES	11,944,792,501	151,605,575	99.4

(注1) 比率欄は純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネープール・マザーファンド	1,000	1,000	999

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年10月12日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託証券	千円 151,605,575	98.9 %
ダイワ・マネープール・マザーファンド	999	0.0
コール・ローン等、その他	1,660,074	1.1
投資信託財産総額	153,266,649	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年10月12日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	153,266,649,545円
コール・ローン等	1,660,074,312
投資信託証券 (評価額)	151,605,575,933
ダイワ・マネープール・マザーファンド (評価額)	999,300
(B) 負債	737,077,300
未払解約金	96,500,818
未払信託報酬	639,140,943
その他未払費用	1,435,539
(C) 純資産総額 (A - B)	152,529,572,245
元本	149,020,098,605
次期繰越損益金	3,509,473,640
(D) 受益権総口数	149,020,098,605口
1万口当り基準価額 (C / D)	10,236円

* 期首における元本額は112,695,026,453円、当作成期間中における追加設定元本額は42,442,179,985円、同解約元本額は6,117,107,833円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,236円です。

■損益の状況

当期 自 2020年4月14日 至 2020年10月12日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 911,480円
受取利息	25,451
支払利息	△ 936,931
(B) 有価証券売買損益	5,181,730,690
売買益	5,355,263,462
売買損	△ 173,532,772
(C) 信託報酬等	△ 640,604,709
(D) 当期損益金 (A + B + C)	4,540,214,501
(E) 前期繰越損益金	△ 3,849,538,826
(F) 追加信託差損益金	2,818,797,965
(配当等相当額)	(△ 2,227,824)
(売買損益相当額)	(2,821,025,789)
(G) 合計 (D + E + F)	3,509,473,640
次期繰越損益金 (G)	3,509,473,640
追加信託差損益金	2,818,797,965
(配当等相当額)	(△ 2,227,824)
(売買損益相当額)	(2,821,025,789)
分配準備積立金	691,587,155
繰越損益金	△ 911,480

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	691,587,155
(c) 収益調整金	2,821,025,789
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,512,612,944
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,512,612,944
(h) 受益権総口数	149,020,098,605口

マン・エーエイチエル・アクティブ・バランスド (円ヘッジ・クラス)

当ファンド（マンAHLスマート・レバレッジ戦略ファンド）はアイルランド籍の外国投資法人「マン・ファンズ・VI・ピーエルシー」が発行する「マン・エーエイチエル・アクティブ・バランスド (円ヘッジ・クラス)」の投資証券（円建）に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスを合算しております。

（注）2020年10月12日時点で入手し得る直近の決算期分を記載しております。

貸借対照表

2019年12月31日

	(US\$)
資産	
現金および現金同等物	315,439,371
ブローカー預託金	175,647,942
ブローカーからの未収金	4,148,341
損益通算後の金融資産評価額：	
利付証券	92,442,044
デリバティブ資産評価額	2,768,494
未収利息	8,190
その他資産	128,398
資産合計	<u>590,582,780</u>
負債	
ブローカー預託借越	248,166
ブローカーへの未払金	4,265,142
損益通算後の金融負債評価額：	
デリバティブ負債評価額	7,049,415
運用報酬未払金	317,111
その他未払費用、負債	247,363
負債合計（投資証券保有者に帰属する純資産を除く）	<u>12,127,197</u>
投資証券保有者に帰属する純資産	<u><u>578,455,583</u></u>

損益計算書

2019年12月31日に終了した年度

	(US\$)
収益	
損益通算後の金融資産・負債の増減額	13,242,825
払戻費用	184,500
	<u>13,427,325</u>
費用	
運用報酬	630,900
事務管理手数料	250,382
その他費用	53,516
保管手数料	15,356
法律専門家報酬	20,264
監査報酬	12,503
役員報酬	1,136
	<u>984,057</u>
投資証券保有者に帰属する純利益	<u><u>12,443,268</u></u>

組入資産明細表
2019年12月31日現在

損益通算後の金融資産評価額

枚数 / 額面	投資対象	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合 (%)
	先物取引 (a)		
	オーストラリア		
69	SPI 200 Futures March 2020	-	0.00
	カナダ		
288	S&P/TSX 60 Index Futures March 2020	-	0.00
	フランス		
434	CAC40 10 EURO Future January 2020	-	0.00
	ドイツ		
70	DAX Index Futures March 2020	-	0.00
800	EURO STOXX 50 March 2020	-	0.00
177	EURO-BTP Future March 2020	40,579	0.01
		40,579	0.01
	香港		
62	HANG SENG Index Futures January 2020	-	0.00
157	HSCEI Futures January 2020	-	0.00
		-	0.00
	イタリア		
128	FTSE/MIB Index Futures March 2020	-	0.00
	日本		
94	JPN 10 Year (OSE) Bond Futures March 2020	-	0.00
158	TOPIX Index Futures March 2020	-	0.00
		-	0.00
	オランダ		
171	Amsterdam Index Futures January 2020	-	0.00
	シンガポール		
167	FTSE CHINA A50 January 2020	-	0.00
284	MSCI SING IX ETS January 2020	-	0.00
159	MSCI TAIWAN Index Futures January 2020	-	0.00
426	NIKKEI 225 (SGX) March 2020	-	0.00
63	SGX Nifty 50 January 2020	-	0.00
		-	0.00
	南アフリカ		
178	FTSE/JSE TOP 40 March 2020	-	0.00
	韓国		
106	KOREA 10 Year Bond Futures March 2020	-	0.00
149	KOREA 3 Year Bond Futures March 2020	-	0.00
346	KOSPI2 Index Futures March 2020	-	0.00
		-	0.00
	スウェーデン		
352	OMXS30 Index Futures January 2020	-	0.00

マン AHL スマート・レバレッジ戦略ファンド

枚数 / 額面	投資対象	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合 (%)
	スイス		
147	SWISS MKT IX Future March 2020	-	0.00
	トルコ		
2,415	BIST 30 Future February 2020	-	0.00
	英国		
1,482	FTSE 100 Index Futures March 2020	-	0.00
	米国		
341	NASDAQ 100 E-MINI March 2020	-	0.00
724	S&P500 EMINI Future March 2020	1,765,755	0.30
205	United States 2 Year Note (CBT) March 2020	35,828	0.01
		1,801,583	0.31
	先物取引合計	1,842,162	0.32

枚数 / 額面	投資対象	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合 (%)
	国債		
	フランス		
18,000,000	France Treasury Bill BTF 0% 2020/03/25	20,237,328	3.50
12,000,000	France Treasury Bill BTF 0% 2020/05/20	13,505,763	2.33
18,000,000	France Treasury Bill BTF 0% 2020/07/15	20,276,122	3.51
20,000,000	France Treasury Bill BTF 0% 2020/08/04	22,492,318	3.89
		76,511,531	13.23
	米国		
16,000,000	United States Treasury Bill 0% 2020/04/16	15,930,513	2.75
	国債合計	92,442,044	15.98

外国為替先渡契約 (b)**

未収金	未払金	満期日	約定件数	未実現利益 (US\$)	純資産に 占める 割合 (%)
€ 1,319	US\$1,461	2020/1/31	7	23	0.00
£ 1,356	US\$1,754	2020/1/31	7	45	0.00
JPY21,364,295,710	US\$196,048,060	2020/1/31	18	879,218	0.15
US\$3,505,577	£ 2,615,000	2020/1/16	1	39,740	0.01
US\$15,907,671	JPY1,725,002,776	2020/1/31	2	7,306	0.00
	外国為替先渡契約に関わる未実現利益合計			926,332	0.16
	損益通算後の金融資産評価額合計			95,210,538	16.46

損益通算後の金融負債評価額

枚数 / 額面	投資対象	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合 (%)
	先物取引 (a)		
	カナダ		
182	CAN 10year Bond Futures March 2020	(111, 521)	(0. 02)
	ドイツ		
512	EURO-BOBL Future March 2020	(263, 902)	(0. 05)
454	EURO-BUND Future March 2020	(805, 589)	(0. 13)
42	EURO-BUXL 30 Year Bond Futures March 2020	(144, 829)	(0. 03)
248	EURO-OAT Future March 2020	(247, 948)	(0. 04)
		(1, 462, 268)	(0. 25)
	英国		
1, 162	Long GILT Future March 2020	(549, 456)	(0. 09)
	米国		
909	United States 10 Year Note (CBT) Bond Futures March 2020	(803, 641)	(0. 14)
745	United States 5 Year Note (CBT) March 2020	(165, 047)	(0. 03)
509	United States Long (CBT) Bond Futures March 2020	(1, 306, 836)	(0. 23)
274	United States ULTRA CBT Bond Futures March 2020	(256, 000)	(0. 04)
		(2, 531, 524)	(0. 44)
	先物取引合計	(4, 654, 769)	(0. 80)

外国為替先渡契約 (b)**

未収金	未払金	満期日	約条件数	未実現損失 (US\$)	純資産に 占める 割合 (%)
JPY43, 904, 923, 426	US\$405, 253, 436	2020/1/31	10	(555, 937)	(0. 10)
US\$164, 071, 365	€147, 615, 072	2020/1/16	5	(1, 792, 072)	(0. 31)
US\$74	€67	2020/1/31	3	(1)	0. 00
US\$3, 809, 987	£ 2, 892, 007	2020/1/16	1	(22, 986)	0. 00
US\$87	£ 66	2020/1/31	3	(2)	0. 00
US\$4, 807, 481	JPY524, 120, 667	2020/1/31	1	(23, 648)	(0. 01)
外国為替先渡契約に関わる未実現損失合計				(2, 394, 646)	(0. 42)
損益通算後の金融負債評価額合計				(7, 049, 415)	(1. 22)
損益通算後の金融資産評価額合計				95, 210, 538	16. 46
損益通算後の金融負債評価額合計				(7, 049, 415)	(1. 22)
その他の純資産				490, 294, 460	84. 76
投資証券保有者に帰属する純資産				578, 455, 583	100. 00

** 外国為替先渡契約はバンク・オブ・ニューヨーク・メロンおよびH S B C銀行を相手方としています。

分類:

- (a) 証券所取引デリバティブ商品
(b) O T C金融デリバティブ商品

ダイワ・マネープール・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（マンAHLスマート・レバレッジ戦略ファンド）が投資対象としている「ダイワ・マネープール・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2020年10月12日）現在におけるダイワ・マネープール・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネープール・マザーファンドの主要な売買銘柄

2020年4月14日～2020年10月12日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2020年10月12日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネープール・マザーファンド

運用報告書 第1期 (決算日 2019年12月9日)

(作成対象期間 2019年11月12日～2019年12月9日)

ダイワ・マネープール・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

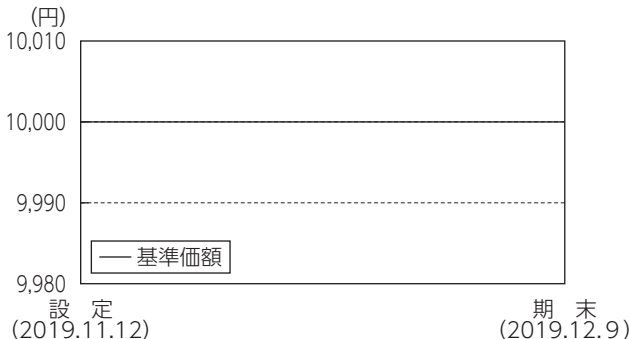
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		公社債比率	
	円	騰落率 %	%	%
(期首)2019年11月12日	10,000	-	-	-
11月末	10,000	0.0	-	-
(期末)2019年12月9日	10,000	0.0	-	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

設定時：10,000円 期末：10,000円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期における該当事項はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	999	100.0
投資信託財産総額	999	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項目	当期末
(A) 資産	999,964円
コール・ローン等	999,964
(B) 負債	-
(C) 純資産総額(A-B)	999,964
元本	1,000,000
次期繰越損益金	△ 36
(D) 受益権総口数	1,000,000口
1万口当り基準価額(C/D)	10,000円

*期首における元本額は1,000,000円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、マンA H L スマート・レバレッジ戦略ファンド1,000,000円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,000円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は36円です。

■損益の状況

当期 自2019年11月12日 至2019年12月9日

項	目	当	期
(A)	配当等収益		△36円
	支払利息		△36
(B)	当期損益金(A)		△36
(C)	合計(B)		△36
	次期繰越損益金(C)		△36